



4/18

紅花が立派に育ちますようにー 白鷹中学校の生徒が紅花の種まき

白鷹町が生産量日本一を誇る紅花。昨年度に引き続き紅花を栽培する体験学習が今年も白鷹中学校で始まりました。

この日、同校の1年生の生徒たちが畔藤地区にある紅花畑で種まき体験を行いました。白鷹紅の花を咲かせる会の方皆さんにご指導いただきながら、各班に分かれて作業にとりかかりました。ほとんどの生徒が小学校でも経験をしていたため、手慣れた様子で一粒一粒丁寧にまきながらやさしく土をかけ、「立派な紅花が育ちますように」と願いを込めました。



▲慣れた手つきで丁寧にまいていた

4/23

農作物被害等をくい止めるために 鳥獣被害対策実施隊委嘱式

鳥獣による農林業等への被害防止や軽減のために活動する白鷹町鳥獣被害対策実施隊。その委嘱式がこの日、白鷹町中央公民館で行われました。

鳥獣被害対策実施隊は、わなや銃器の取り扱い資格を有する方々で構成されており、近年増加傾向にある鳥獣被害について、対象鳥獣の捕獲や情報収集等を適切に行い、被害防止対策に取り組んでいます。

本年度新たに猟友会員7名の方が実施隊に加入し、一人ひとりに対し佐藤町長より委嘱状が手渡され、隊員の皆さんは真剣な面持ちで受け取りました。



▲佐藤町長より委任状が手渡されました

4/27

新緑の山形路を駆け抜けるー 第69回山形県縦断駅伝競走大会

第69回山形県縦断駅伝競走大会が4月27日から29日の3日間で開催され、長井・西置賜チームの選手たちは桃色の襷に思いを込めて走りました。

今大会には、白鷹町から7人の選手が出走。地域の皆さんや荒砥高校の生徒たちが応援に駆けつけ、熱い声援を送りました。長井西置賜チームは総合5位となり、8年ぶりに入賞を成し遂げました。

《出走・エントリーされた白鷹出身・在住者》

- | | |
|-------------|-------------|
| ・渡部功将選手（山口） | ・堀内郁哉選手（荒砥） |
| ・藤原優希選手（荒砥） | ・丸川快斗選手（鮎貝） |
| ・菅 陽翔選手（鮎貝） | ・黒澤 叶選手（鮎貝） |
| ・佐藤銀河選手（十王） | ・竹田圭吾選手（荒砥） |
| ・今啓一郎選手（荒砥） | ・平 碧羽選手（十王） |
| ・石田善一選手（十王） | |



▲白鷹中継所にて藤原選手から井上選手へと襷がつながる



4/8

多大なるご寄附に感謝 おきたま新電力(株)に感謝状を贈呈

この度、多大なるご寄附を頂戴しました、おきたま新電力株式会社(後藤博信代表取締役社長)に、町より感謝状を贈らせていただきました。

おきたま新電力株式会社は、米沢市に本社を置き、地域の有用資源や地勢を活用したエネルギー開発を手がける会社で、町の地域振興および充実発展のためにと100万円のご寄附をいただいたものです。いただいた寄附金につきましては、今後、地域づくりの運営や防災対策等に充てさせていただきます。誠にありがとうございます。



▲感謝状を手にする後藤代表取締役社長

4/11

消防団活動への多大なる協力が認められ (株)佐藤燃料店が消防団協力事業所に認定

株式会社佐藤燃料店(佐藤貴光代表取締役)が、総務省消防庁消防団協力事業所に認定され、この日、佐藤町長より交付証および表示証が手渡されました。

これは、市町村消防団協力事業所の認定を受けており、一定の従業員が消防団員であること、特に消防団活動に協力している実績が顕著であることなど、要件を満たした事業所に対し、消防庁長官から交付されるものです。日頃より消防団活動に対しご尽力をいただいております。今後とも町民の安全安心を守るための消防団活動にご協力をいただきます。



▲認定証を手にする佐藤貴光代表取締役(中央)とその関係者

4/12

仲間とともに活躍を誓う 白鷹町スポーツ少年団結団式

白鷹町スポーツ少年団結団式が、鮎貝小学校体育館で行われました。

今年度の団数および団員数は、15団体330人となります。入団者承認において全団員の入団が承認され、それぞれの団に団旗が授与されました。そして、団員を代表してエスペランサFCの小口陽次郎くんが誓いのことばを述べました。団員たち一人ひとりが気持ちを新たに今年1年の活躍を誓い合いました。

また、式の後はコンディショニングチェックが行われ、大きなケガを予防するためにそれぞれ自分の身体のコンディションを確認しました。



▲団旗を受け取るスポーツ少年団の団員